

4. マリンデュークの伝説

昔、バタンガスのバランガイは、ミンドロとカマリネスのラグナの南西の一部を含めていました。裕福で権力を持ったこのバランガイの支配者は、よく知られたリーダーでダトゥー・バトンバカルでした。ダトゥーには、大変美しいムツヤ・マリアという名の娘がいました。彼女は、乙女としての資質を全て見出されていたので、タガログ地方の女王になるとみなされていました。

ムツヤ・マリアには、大勢の求婚者がいました。彼らの中で、裕福な支配者は、ミンドロのダトゥー・バガル、ラグナのダトゥー・サグウィルとカマリネスのダトゥー・カウィリでした。マリアは、これらの三人にも、他のさまざまな者たちにも惹かれませんでした。彼女が最高に好きだったのは、ガルデュークという貧しい若者でした。彼はタールからの漁師で、ガルデュークは、愛称をデュークと言い、歌うだけでなく、詩を書くのも好きでした。彼も自然愛好家であり、それには海や山やそして湖も含まれていました。

三人のダトゥーは、自由に宮殿のマリアを訪問できました。彼らはマリアの父によく知られ、地位は対等でした。一方、デュークは、タールからの貧しい求婚者で、ダトゥー・バトンバカルによって、彼の唯一の娘と会うことを止められていました。

ある時、ダトゥーがその貧しい求婚者を見た時、彼は怒り出して、やがて叱りつけました。そして、彼の許可なく宮殿に入らないように、と告げました。若い男は、ただマリアの意思に従って、宮殿に来て、彼の詩を彼女に朗読するつもりだったということ、を、穏やかに答えました。気が重くなって、デュークは宮殿を出ました。

長い間、その若い詩人は、マリアを訪問しませんでした。その乙女は、デュークを深く愛していて、大変恋しく思っていました。彼を慰めるために、彼女は草原を散歩しようと思いました。彼女の詩人である恋人に会えるかもしれないと思ったからです。

ふたりはついにパンシピット川の岸で会いました。そこで若者は釣りをしていたのです。この出会いの中で、乙女はデュークに、もし彼が本当に彼女を愛しているのなら、どんなことがあっても、挑戦するように告げました。

「わたしも同じことをします。」と彼女はデューク

ークに約束しました。

別れる前、マリアとデュークは次の夜、宮殿の庭で会うことに同意しました。

どうしたわけか、ダトゥー・バトンバカルは、娘がどこへ行ったのか知るようになりました。マリアが宮殿に帰ってくるのを見て、彼は、彼女が詩人の恋人と会っていたことを叱責しました。

「お前はわたしたちバランガイの法、高貴な者には高貴な者を、奴隷には奴隷を、ということをおぼれたのか。」彼は怒って彼女に言いました。

本当に、マリアとデュークが行ったことは、法律違反でした。何ら容赦なく、ダトゥーは、詩人が翌日、大理石の庭で首を切るように命じました。

ダトゥー・バトンバカルの残酷な命令は、次の朝に実行されました。デュークの死体は海に投げ出されたのです。情勢の変化に嘆き、そして、彼女も同じ罰を受けるものと考え、マリアは宮殿の衛兵を逃れて、彼女の死んだ恋人の死体と一緒にするために、彼女は自分で海に飛び込みました。彼女は自分の腕を、彼を守るように投げ出したので、大きな波は彼らを覆い、アツと言う間に、デュークとマリアは、海の深みに消え去りました。

そののち、デュークとマリアが大きな波に飲み込まれた所から遠くないところに、ひとつの島が現れました。不運なふたりの恋人、マリアとデュークの名前からとって、マリンデュークと名づけられました。

練習問題

新しい言葉の学び

左の言葉の意味を、括弧の中の言葉から選びなさい。あなたの紙にそれを書きなさい。

- 1 barangay (おもちゃからの所蔵品、家庭のグループ、動物の王)
- 2 powerful (弱い、幸せ、強い)
- 3 maiden (若い女性、老女、結婚した女性)
- 4 replied (眠った、嘘を言った、答えた)
- 5 suitor (敵、求婚者、友人)
- 6 console (元気づける、傷つける、待つ)
- 7 reprimanded (賛美した、叱った、質問した)
- 8 violation (招待、訪問、不服従)
- 9 vanished (終わった、消えた、思い出した)
- 10 ill-fated (幸せ、不幸、喜ばせる)

フィリピン 神話と伝説

重要な詳細を思い出す

下に10の文章があります。いくつかは正しく、他は間違っています。正しい文章を抜き出し、あなたの紙にその番号を書き出さない。

1. ムツヤ・マリアは、ダトゥー・バトンバカル
の娘である。
2. 求婚者マリアが一番好きなのは、ダトゥー・
サグウィルである。
3. ダトゥー・バトンバカルは、彼の娘の求婚者
としては、ガルデュークを支持していた。
4. ガルデュークは、歌うことと詩を書くことが
好きであった。
5. マリアと若い詩人はパンシピット川のほとり
で会った。
6. デュークは、高貴な階級に属していた。
7. マリアとデュークは、宮殿の庭で会うことを
同意していた。
8. ダトゥー・バトンバカルは、彼の娘がどこへ
行っていたか知ることになった。
9. 早い時期、バランガイは常に法によって、治
められていた。
10. マリアとデュークは、ついに乾坤して長く
幸せに暮らした。

明確化と発展の評価

1. このムツヤ・マリアの伝説は、「乙女の気品の
すべて」を見出したことが述べられている。し
かしながら、気品は語られていない。ムツヤ・マ
リアにあなたはどんな気品を示唆するか。
2. 「どんなことがあっても、挑戦するように」
という言い回しの、あなたの説明はどんなこと
ですか？
3. ダトゥー・バトンバカルによると、デューク
とムツヤ・マリアはバランガイの法が言う「高貴
な者には高貴な者を、そして奴隷には奴隷を」と
いうことに違反した。あなたはこの種の方につ
いてどう考えるか？
4. あなたは愛のために、法に違反するか？ あ
なたの答を説明しなさい。
5. この物語で、デュークは、法に違反した罰に、
首を切られた。世界のどこの国にこの種の罰が行
われるのか？ あなたはこの種の罰に賛成か、反
対か？ あなたの答を説明しなさい。